

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北陸新幹線延伸を見据えた軽井沢の魅力と「風土・フード」のPR活動 ver3
事業主体 (連絡先)	軽井沢町 (観光経済課観光商工係 主任 関 勝之)
事業区分	主(6)ア 特色ある観光地づくり 関連(6)イ 農業の振興と農山林づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,793,500円 (うち支援金: 2,662,000円)

事業内容

- 平成27年3月の長野～金沢間の北陸新幹線開通に伴い
- ・金沢市内、富山市内での観光パネル展及び霧下野菜を無償配布を実施
 - ・北陸圏の方々の軽井沢町へのニーズを掘り起こすアンケート調査をパネル展時に実施
 - ・アンケート調査の結果を取りまとめ、観光関連団体の方々をメンバーとしたWSを開催
 - ・北陸圏のメディア・エージェントを訪問しPRすることによる誘客促進
 - ・軽井沢町内で北陸圏の観光部局職員と協働して、北陸・軽井沢フェアを実施
 - ・金沢・富山・新高岡駅でポスター掲出



(活動写真)

【金沢市内霧下野菜PR】

【目標・ねらい】

- ①パネル展でのアンケート調査実施
- ②金沢・富山との共同の観光PRの実施

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・パネル展や生産者手渡しによる野菜の無償配布についても軽井沢の美味しい食材を知ってもらうことによる地場産業も含めた観光誘客宣伝に繋がった。
- ・アンケート調査実施により北陸圏の方々のニーズを知ることができた。
- ・WS開催することにより今後の課題が見えた。
- ・メディア・エージェントを訪問し観光PRすることができた。
- ・観光協働イベントを開催したことで、観光情報を共有できた。
- ・それぞれの駅でポスターを掲出することで、北陸圏の方に訪れていただく契機となった。

※自己評価【A】

【理由】

アンケート調査を実施したことにより、北陸圏の方々のニーズを知ることができ、今後の施策に繋げることができる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

金沢市内、富山市内での観光パネル展を継続し観光PRを行っていく。
アンケート実施結果に基づく観光関連団体等とのWSを継続していき観光施策を実施していく。
金沢市・富山市との情報交換交流会を定期的を開催することにより情報を共有していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある